

議会広報広聴委員会記録

令和元年12月6日（金）
16時36分～17時27分
議会第1委員会室

- 【出席者】三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
【事務局】篠原次長、近重書記
-

議題

1 はまだ議会だよりVol. 56について

- (1) 掲載記事・担当者について……………資料1-1
➤ 原案のとおり
- (2) レイアウトについて……………資料1-2
➤ 賛否のレイアウトを検討
- (3) 発行スケジュールについて……………資料1-3
➤ 原案のとおり
- (4) その他
➤ 特になし

2 地域井戸端会の意見について

- (1) 意見の委員会への振分について……………資料2-1
➤ 議会広報広聴委員会から各常任委員会（総務文教委員会・福祉環境委員会・産業建設委員会）へ提供する。その後各常任委員会から特別委員会へ提供し共有を図る。
- (2) 意見振分先の確認について……………資料2-2
➤ 原案のとおり
- (3) その他
➤ 特になし

3 その他

- 今後の編集方針等の説明

【次回委員会開催予定日】令和元年12月26日（木） 午前11時～ 第4委員会室

【議事の経過】

[16時 36分 開議]

三浦委員長

議会広報広聴委員会を始めたいと思います。出席議員は10名で定足数に達しています。本日の会議の議題は2点あります。1つ目は議会だより掲載記事、レイアウト、締め切りの決定。2つ目は地域井戸端会の意見一覧が出ているので、各常任委員会への提供の流れの確認という2点になります。では早速議題に入ります。

1. はまだ議会だよりVol. 56について

- (1) 掲載記事・担当者について
- (2) レイアウトについて
- (3) 発行スケジュールについて
- (4) その他

三浦委員長

事務局から最初に説明をお願いします。

近重書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

事務局から説明がありました。次号のレイアウトや担当、スケジュールについてご意見、ご質問がありますでしょうか。

川上委員

賛否の公開がどうしても狭くなっているの、何か工夫した方が良くと思うのだけど。必ず出さないといけないのかなこれは。澁谷委員どうですか。

澁谷委員

出さないといけないけど、簡略化して×とか、全員が可決しているものならタイトルだけ書いて。賛否が分かれたものだけやるとか、いくらでもできると思う。全国的な流れからすると皆公開している流れです。

川上委員

何か工夫して少し見やすくした方が良く気がする。

澁谷委員

そこまで言えば近重書記が考えるよ。

近重書記

今回例えば、仮にですが古紙回収ボックス等は、どこかは反対でどこかが賛成みたいなことになると、今はまとていますが。この地区は良いけどこの地区は許さないというのは考えにくいですが。どう分けるかですよね、分かれたものだけ載せてそれ以外は、というような。

澁谷委員

議会の分は全会一致で可決されましたとか、何かやり方はあると思う。

川上委員

その辺まとめて欲しいなと思いつつ見えています。

三浦委員長

後から、今後の編集方針を皆さんにお示ししようかなと思っているのですが、そこでもこの表記については少し触れていますので。ページに入らないということもあるので、それはまた相談をしたいなと。一応工夫するということで、デザイン会社さんに相談を。

その他ございますか。

佐々木委員 紙面を有効活用してもらえば良いかなと思って。多分今までもこういうタイミングの時には冒頭の正副議長が代わって、それぞれ出しているのだけど、ご承知のとおり議会の顔は議長なので、あと内容についても今までのを見ると正副議長だいたい似たり寄ったりのが結構あって、それを外してということになると個人的な主義主張になってもいけないし、というのがあって。副議長の場合は紹介だけでも良いかなと思いついたのだけど駄目ですかね。

澁谷委員 そんな頼りないことしなさんなよ。

佐々木委員 主義主張が入りすぎるのはいけないかなと。紙面のこともあるし。

澁谷委員 折角近重書記が原案して、副議長を紹介してあげようというのに。

野藤委員 紙面を削ったとしても大勢に影響ないと思うのだけど、そこはきちんとやった方が良いでしょう。

澁谷委員 正副議長だから。正副議長のために他の22人はいるのだよ。

野藤委員 この分しかない、毎回出るわけではないから。

佐々木委員 ではそういうことで。

澁谷委員 つまらない記事だったら散々に言うから。何だこれはやり直せと。うちの委員会は厳しいのだから。

三浦委員長 そういうことで全会一致で、副議長にはしっかり。議長にも書いていたきたいということです。

芦谷委員 小見出しを入れた方が良いでしょう。

三浦委員長 はい。それも紙面レイアウトの読みやすさなので、それもデザイン会社にお願ひしましょう。

野藤委員 両側の、右の所に入れるのがあるでしょう。こういう所に。パッと開いた時に見える。研修の時にそういうのがあったと思うけど。開いた時にページ右の所に挨拶のような、あったような気がするけど。開いた時に両ページの角に小見出しというか。

三浦委員長 それも全体的なデザインのことなので相談しましょう。

その他ございませんか。よろしいですか。

(「顔写真」という声あり)

正副議長の。それも考えましょう。

川上委員 細かいことは後でやるのだろう。

三浦委員長 細かいことというのは。

川上委員 前回も思ったのだけど、中がごちゃごちゃしているのももう少し軽くして。全体的に。

近重書記
川上委員
三浦委員長
川上委員
三浦委員長
野藤委員
川上委員
野藤委員
三浦委員長
佐々木委員
三浦委員長
野藤委員
佐々木委員
三浦委員長
野藤委員
三浦委員長
野藤委員
三浦委員長
西川委員

文字数を減らしてスペースを増やすということですか。
そういうことになるかは分かりませんが。やってみないと分からないの
だけどね。これは僕の主観なので。
やはり少し詰まっている感がある。
うん。その辺を少し考えていただけると良いなと思う。読みづらい部分
があると言われるので。僕らは思わないけど、ご高齢の方等は読みづらい。
ということで、考えましょう。
他に要望はありますか。
書体ですかね、読みづらいのは。メリハリをつけるとか。
紙面が詰まり過ぎている。
タイトルだけパパッと読んでいくと、書体によってイメージがあるので、
そういうの。デザイン、レイアウトになると思うけど。
リクエストは一応しましょう。
ページ数はあまり変わってないですね。
ページ数は決まっているというか、16でそのままです。この前印刷会社
にも確認したのですが、裁断の効率といったことを考えると16ページとい
うのが予算的にも一番都合が良いみたいで、ここから例えば4ページ増や
すといったことになると予算が変わるとのことだったので。
何ページ分かをカットすると16ページが一番効率が良いのです。
折角色んなことで取り組んでいる紹介も、多分ここが一番メインになっ
てくるので。できればもっとボリュームが付けられれば良いかなと思うの
だけど。
次だと24ページが一番良いそうです。
8ページずつか。
その他、要望等ございますか。
紙質とかはどうですか。
今回の号については編集のスケジュールもありましたので、これまでの
やり方を基本的には踏襲する形で今進めさせていただいています。ただ、
皆さんからもリクエストが様々あるように、色々と少しずつ直すというよ
りはまとめて要望してパッと直した方が良いかなということで。この会議
の最後に、今後の編集方針を敲き台として皆さんにお示ししたいと思っ
ています。次号については基本的に今までのものを踏襲する形で、紙質まで
はあまりいじらないでやるのが良いかなと思っています。
契約の請負の要領があるので、それに枚数・紙質が規定してあるので、
今触ると変更になるので。触るのであれば年度替わりの時ですが、それは

	また。
野藤委員	分かりました。意見として。
川上委員	変わるのカラーだけか。
西川委員	そこも。
川上委員	相談してみてください。半分カラーにできるかとか。
三浦委員長	どうですか、他にはよろしいですか。 (「はい」という声あり)
	ではスケジュール、レイアウト等については先ほど説明があったとおりで進めていきたいと思えます。
	紙面に関して他にございますか、大丈夫ですか。 (「はい」という声あり)
	近重さん、担当は。
近重書記	担当は資料1-1を見ていますが、今の時点で決められる所は差し込んでいます。なのでもし今意見をいただくことになれば、担当はちょっと、というくらいかなと。4、5ページのトピックスは今から選定に入って、例えば総務の何かになれば、ここに総務から出ておられる委員の方に作っていただくという流れです。
三浦委員長	それは予算決算委員会終了後に決めさせていただきます。 (「はい」という声あり)
近重書記	とりあえず今はこうなっている状態です。

2. 地域井戸端会の意見について

- (1) 意見の委員会への振分について
- (2) 意見振分先の確認について
- (3) その他

三浦委員長	まず意見の委員会への振分について、申し送り事項の確認を事務局からお願いします。
近重書記	(以下、資料をもとに説明)
三浦委員長	今説明がありました振分について、ご質問、ご意見等ございますか。
野藤委員	重複掲載があるということだったのですが、何か印があるのですか。
近重書記	すみません、なくて。
野藤委員	それは関係ないのですね、分かりました。
三浦委員長	他にございますか。よろしいですか。 (「はい」という声あり)
	では、先ほど説明がありましたように、議会広報広聴委員会から各常任

委員会へ意見をご連絡させていただいて、そこから先には、特別委員会には各常任委員会から振り分けていただくこととなります。そのようにさせていただきますので、よろしくお願いします。

この件についてその他、何かございますか。

(「ありません」という声あり)

では、最後の議題に移ります。

3. その他

三浦委員長

その他です。今後の方針について委員会の冒頭というか、2年の始まりなので少し、こういうことをしていきたいとか、皆さんと共有したいなということで、委員会の活動方針と議会だよりの編集方針というものを作ってまいりましたので、皆さんに見ていただきたいと思います。

資料をめくっていただいて、「議会広報広聴委員会の活動方針」と書いております。基本的に私も2年間、議会広報広聴委員会に所属させていただき、小川委員長、川上副委員長のもとで議会だよりの紙面改善も含めて取り組んできたことを更に進める方針で考えております。広報広聴委員会ですので、2つの大きな機能があることは言うまでもありませんが、広聴機能に関しては2つ、1つ目は收拾情報を増量していく。これは市民の方々からご意見ご要望をしっかりと聞く、その量を増やしていくということを1つ取り組む必要があるかなと思っています。これは議会に対する、発言時間と書いてあって言葉選びが少し悪かったのですが、今井戸端会等をやっていますが、井戸端会で参加された方々からの意見の吸い上げ方が、今のワークショップスタイルで良いのか、それとも他のやり方の方が情報をたくさんもらえるのか、それを考えていきたい。もう1つは、1日市民スピーチの提案が以前されていますが、こうした形の方が情報収集するには良いのか、これについても検討していきたいと思っています。星印と円マークは、これをやることにおけるエネルギーがどれくらいかかるかが星で、予算的にどれくらいかかりそうかというのが円マークの数で表しています。市民スピーチを開催するとなると、新しい企画ですので、少しそこにかかる労力がかかるかなということで星3つ、新しいことをするため少し予算もかかるかなということでこのように示しています。

もう1つは、議会における吸い上げてきた声の反映度をきちんと上げていくということが必要かなということで、政策討論会が昨年度から始まっていますが、政策形成サイクルをしっかりと定着させていくために、こうしたところへ意見をきちんと、自由討議も含めて出していくことが2つ目の

機能としてあるかなと思っています。

大きい2つ目は広報機能で、収集した情報をどのように扱ったかをきちんとフィードバックしていくことも大事だろうと思っています。1つ目は戻していく情報をしっかり増やしていくことが大事だと思っています、これは以前提案もさせていただいた部分なのですが、ミニ広報のウェブ配信をしていってはどうかというものです。年4回の議会広報では期間も空きますし、その間にも議会活動をやっているわけなので、ホームページを使って情報発信すれば低コストで済むということと、定例会議以外に議会が動いていることをきちんと伝えることができるのではないかと。視察報告ですとか、正副議長も色々な公務をされていますのでそうした状況を知らせるですとか、色々コンテンツはあるかなと思っています。それから各議員のウェブサイト、これはSNSをやっている方もおられると思いますが、こうした個別議員の活動内容も分かるようにウェブサイトにそういったリンクを貼っていくことも、予算を掛けず情報量を増やすことにつながるかなと思いますし。あとはそうしたことも含めて、今浜田市議会のウェブの情報の階層が非常に見にくくなっていますので、こうしたところも解消するといったリニューアルを事務局と少しやっていってはどうかなと思っています。

2つ目は情報の平明化と書いていますが、先ほどもご意見があったように、議会だよりはもう少し抜本的にと言いますか、今まで色々で見直しを進めてきていますので、もう少し追加で見直しをしながら良い物に上げていく事が必要かと思っています。やはり読み物として読みにくいか、読み物として欲しい情報がないとか。そうすると手に取ることがしにくくなりますので、そうしたところの質を高めていくのが必要かなと。やはり分かりやすさも重要かなと思っています。こうした広報広聴における情報を増やしたり、情報をわかりやすくするとか、反映度を向上させていくことを活動方針の基本に置いて、次にスローガンを書いてみたのですが、この委員会で市民の声をまずは聞く所からということで、市民の声を第一にという広聴機能をしっかり考えながらそこをスタートとして、広報広聴をしっかりやっていくというような、何かこういうことを共有できたら良いかなと思っています。

一番メインになると言うか、大きな仕事として市議会だよりの編集があると思うのですが、その編集方針を以下に書いています。この議会だよりの位置付けというのが、これも以前にお示ししたというか、企画を出したことがあるのですが、基本的に議会だよりに全ての情報を載せるのは不可

能なので、ウェブサイトに詳細な情報は全部載せていく。その中から定例会議があるタイミングをメインにして、情報の鮮度や重要度が高いもの、市民に特に伝えたいこと、関心度が高いものをダイジェスト版的にここに載せていく。そこには読みやすさだとか分かりやすさがもちろん重要になってくるので、こうした位置づけで議会だよりを編集していく。

次に編集方針を書いています。議会だよりは市民の市政、まちづくりへの関心を高めて、参画を促進するために発刊するものであって、議会と市民との大事なコミュニケーションツールだという位置づけで捉えています。編集方針としては、市民の間に市政の話題を提供するきっかけとなることを目指すと書いていますが、議会で取り扱われているネタ、市民の方々が関心あること、それがお茶の間で色々話題になってくれると良いなど。それくらい分かりやすくキャッチしていただけるような情報の出し方が必要かなど。そして、議会だよりを読んだ後に「こんな議論がされているのだ」とか、前向きになれるような企画編集を全体で行っていったら良いなと思っています。

コンテンツ、中身についてですが大きく4つに分けてあります。1つ目は今までどおり定例会議のトピックスを掲載していく。委員会や本会議における議論の経過や結果をきちんと伝えることで、これは大事な所かと思っています。先ほど川上委員からも意見がありました表決については、例えば予算案や重要案件、賛否が分かれたもののみを議会だよりに掲載し、残りはホームページに掲載する等、紙面の掲載量においては少し工夫が必要というか、意見を言い合っても良いかなと思っています。討論の要約や請願は今までどおり掲載する。

これは副委員長とも話をして、市民との対談ページを新設したいなと思っています。様々な分野で市民の方と対談によって、その方々の声を聞くという広聴機能をしっかりPRすることと、強化にもつながると思いますので、こうしたことを企画できたらいいなと思っています。例えば高校生が思うこととか、子育てママパパが思うこと、農家さんが思うこと、公民館が思うこと等、テーマはいくらでも切れると思うので、こうしたページを続き物の特集としてできたら良いなと。

一般質問なのですが、これはもちろん掲載するのは必須なのですがリニューアルを図ってはどうかと思っています。議員それぞれの関心や取り上げる話題を際立たせることと、市民それぞれの考え方にフィットする、市民それぞれ関心ごとが違うと思うので、そうした所がマッチングが分かりやすいような形で作ったらどうかと思っています。これについては後程ご

説明するので少し飛ばします。

4番目、定例会議以外の議会活動で、これも継続してですが、定例会議以外の議会活動、井戸端会やりました、こんなことが出ました、視察に行きました、こういう提言を何々委員会から出しました、等々、ここの情報も結構あると思うので、これも継続的に出していくということです。

それから、その他として2点ほど書いておりますが、政策プロセスの見直しとして、議員・事務局・制作業者の役割分担をしっかりと明確にして、効率的な委員会運営ができたらいいなと思っています。業務が重複していたり、業者さんをお願いしても良い事をこちらが受けてやっているということもあるので。これは先般、業者さんとも話をしまして、整理が概ねできるかなと思っています。

それとウェブとの連動制を強化ということで、紙面で全てを伝えることが難しいので、議会の公式ホームページとしっかり連動させて、情報への常時アクセスを可能とさせていただきたいなと思っています。

次のページに行ってください。これが一般質問のページのリニューアルバージョンの企画案です。一般質問の時に西川副委員長が取り上げていた、SDGsという国連が定めている目標がありますが、これにも少し引っ掛けて、こうした編集はどうかなということです。今は議員個人個人がずっと羅列されている形になっていますが、読者からすると例えば教育のことでこの議員がこういう視点でこんな意見を言っている。あるいはエネルギーに関してこの議員がこんな形でここを取り上げている。産業振興だったらこんな感じ、というようにジャンルで区切って編集すると読みやすいのではないかと思いました。先ほど、今度編集する議会だよりの委員会編成が変わりましたという所も、各委員会の冒頭にアイコンを置くと言っていました。このようにジャンル分けをした時に何か分かりやすいようなロゴみたいなものがあったら良いなと思った時に、ちょうどSDGsというのは17個の目標に分類されていて、既にロゴができていますので、例えばこういうことをやって、議会としてもSDGsに関わっていると。今執行部が全然やってないので、こうした所を執行部側に働きかける意味でも1つアイデアとしてどうかなと思ってここに書いています。

最後、デザインに関する要望を業者にしていこうと思っていますが、紙面の全体的なイメージとしては議会が動いているというアクティブ感と、きちんと向き合っているという誠実さ、それから、そう遠くない存在なのだという親しみを表現したいということで、ここに秋田県広報紙の「のんびり」というフリーペーパーの紙面を参考に載せさせていただいて、

もう1つは読谷村（よみたんそん）観光協会のパンフレットの一部分ですが、ポップですがすごくまとまっていて分かりやすいというか、きちんとデザインされているというか、こうしたことを業者さんとしっかり相談しながら、こういう紙面の大幅リニューアルを図れると良いなと思っています。

最後に、これも先ほど川上委員から「読みづらい」という意見があったのですが、読みづらさの原因は、文字の大きさが一律で使われている所もあるかなと思っています。あとは写真と文章の間の余白が少ないですとか、小見出しが少ないですとか、メリハリが紙面に無いというのが一番読みにくい所だと思います。この読みづらさを改善するように要望したいなど。

あとは、動画にすぐ飛べるようにとQRコードが貼られているのですが、個人一般質問の所に全部あるので結構視覚的なインパクトが大きいのです。なのでその大きさを調整していただいたりとか、あとは検索窓も一部変更するとか、そういうのも使うなどして全体のバランスを整えたいと思っています。あとは丁度タイムリーに、先般フリー素材ではないものを使ってというのがありましたが、フリー素材は無料で良いのですが、この機にフリー素材は扱わないということができたら良いなと思っています、これがどれも同じに見えてしまう大きな原因なのです。例えばこども美術館の職員さんが、これは聞いてみないと分かりませんが、そうした方や市内でイラストを描いてくださるような方に少しお願いをして、そのフリー素材の代わりにオリジナルイラストを描いていけば、著作権の問題ももちろん心配することはないですし、描いていただくには少し労力が生まれますが、こうした形でできるだけオリジナルな紙面に変えていくことができれば良いなと思っています。

冒頭に戻りますと、広報広聴機能をしっかり高めていくことがもちろん大事だと思うので、紙面リニューアルについては色々皆さん、委員の方々もご意見あると思いますので、意識をしっかりと擦り合わせてタイミングを見計らってリニューアルを掛けるような形で、当面は基本的な考え方で活動を進めていけたら良いなと思っています。忌憚のないご意見をいただけたら幸いです。

笹田委員
三浦委員長
野藤委員

良いと思います。やってみましょう。やりましょう。

ありがとうございます。

読み手があるので、何に興味があるのか、何に関心があるのかは把握した方が良いのかなと思っています。アンケートもそれになるのかなと思ったりしますが、興味関心のあるものに対してメリハリをつける作業が良いのかなと。フリー素材も結局、多分小さいサイズで書いてあるのだけど、

公が使うとお金が発生する場合があります。個人で使う場合は良いですがと書いてあって、フリーになっているのですよね。だから、騙しではないですが引っかけたような部分もあるので。公のものにフリー素材は使わないということで良いかなと。

三浦委員長

他にいかがでしょうか。小川委員どうですか。

小川委員

完璧ですね。かなり進化していますね。私ら何をやってたのだろうかという気がしますね。

川上委員

そのうち個人の写真はイラストに変わる。

野藤委員

市民の方が登場するというのが、前視察に行って、これ良いねということがあったのですが、例えばそれが対談であったりだとか、色んなことで一生懸命やっている市民、協力隊の方を登場させるとか、そういう記事があれば手に取ってもらえるというのを聞いたことがあります。どれくらいの紙面かは分かりませんが、そういうのも良いですよ。興味関心というか。

三浦委員長

そうですね、しっかり声を聞くという、そういう接点を。

野藤委員

しかも若い人。写真を入れて、頑張っていると。

佐々木委員

市民スピーチとはどういうことですか。

近重書記

昨年、議会広報広聴委員で視察に行った愛知県犬山市議会がやっているのですが、市民が5分間、議場で議員に対して、こういう取り組みをしたら良いのではないかというのをスピーチする。それに対して議員さんが質問したりして引き出す。限られた持ち時間で声を聞く。聞いた案を皆さんが執行部に提言されたり、といった流れを汲んでいたはずです。

佐々木委員

執行部に対しての意見ですか。

西川委員

議員が個人でやったのもあるし、色々テーマによって対応は違いますが市民の人から時間に来てもらって聞くという。

佐々木委員

自由に。

西川委員

テーマ設定は市政に関わることという色々条件があつて。

三浦委員長

それを取り入れてみたらどうだろうかという話が前回の委員会の中で出ている。

小川委員

今は議会が出向いてやっているけど、意見を持っている人に来てもらって。チャンネルを増やそうではないかという議論があつた中で、たまたま犬山市でそういうのをされていて勉強になりました。

川上委員

春は出る、秋は来てもらうとか。

近重書記

広報で事前に集めた資料で、犬山市さんのホームページを宜しければ。

三浦委員長

なので、今までやっていた井戸端会というか議会報告会を減らしてこれ

をやるとなった時に、本当にその手法で意見の質や量が良くなるのかは、議論して進めていく必要があるかなと思っています。それを申し送って今に至っている。

- 佐々木委員 誰でもは来にくくなるけど、まともな意見は聞けるということで。
- 三浦委員長 質は高まると思います。
- 野藤委員 来る人が固定化する。
- 佐々木委員 そうかもしれないな。
- 川上委員 それはうちが選定するものだから。お願いします、ありがとうございますと。
- 野藤委員 どういう設定か分からないけど、議場に普通の人に来て言うのはなかなか難しいと思う。
- 笹田委員 その後の議論は良いわ。
- 野藤委員 前向きにやるのは構わないですよ。
- 三浦委員長 なので、その実施についても今後開催する、しないは、またご意見を伺いながらというか、一緒に検討して良ければ良いかなと思っています。他にございますでしょうか。
- （ 「ありません」という声あり ）
- では、広報広聴機能が高まるように、一緒に頑張っていきましょう。
- 澁谷委員 確認なのだけど、今回の一般質問の原稿は今までどおりですか。
- 近重書記 そうです、今日この後皆さんにメールを流します。
- 三浦委員長 こういうスタイルが良いのかも含めて、今後また。今日はお示しただけなので、また意見を伺う時間を委員会ごとにとって、共通認識を持たせた段階でそういう紙面にしていこうと思います。
- 澁谷委員 今頃締め切りが守られているのかな。
- 近重書記 はい、僭越ながらいただいた瞬間に一応字のチェックはして、皆さんに入稿する時にはある程度できているようにしますので。
- 三浦委員長 では、次回の委員会が12月26日（木）で編集作業がありますので、9時になります。時間をお間違えのないようにしてください。
- 近重書記 またこの画面を取って、今日のフォルダに一応入れておきます。
- 笹田委員 開通式がある。案内が来ていたけど。
- 近重書記 午前中ですか。
- 笹田委員 10時から。産業建設委員には皆来ている。
- 近重書記 知りませんでした、すみません。
- 三浦委員長 どうしましょうか。

（ 以下、日程調整の自由討議 ）

では26日（木）11時から、第一委員会室で。昼をまたぎますがよろしく
お願いします。

（ 「はい」という声あり ）

その他、何かございますでしょうか。

（ 「なし」という声あり ）

それでは広報広聴委員会を終了します。

[17時 27分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀